

## シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会計情報学特論	1・2年生	選択	2単位	伊藤 龍峰
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>到達目標：会計情報作成・開示に関する理論的・制度論的の知識の習得            テーマ：現代会計基準に関する主要論点の研究</p>				
<p>授業の概要</p> <p>現在、会計のグローバル化が進展し、現代経済社会を生きる私たちにとって、会計知識の習得は必須の要件となっている。この講義では、会計制度の変化と会計情報の新しい特徴を正確に理解し、企業の会計政策の決定と会計情報の分析とを行う能力を養うための専門知識を身に付けることを目的として、会計基準および概念フレームワークの主要な論点について体系的に説明し、討論する。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第1回 会計を取り巻く環境と会計情報の意義・役割</p> <p>第2回 会計情報作成・開示の仕組み－技術的な観点から</p> <p>第3回 会計情報作成・開示の仕組み－理論的な観点から</p> <p>第4回 企業会計制度について－会社法会計・金融商品取引法会計・税務会計</p> <p>第5回 「財務会計概念フレームワーク」－収益・費用中心観と資産・負債中心観</p> <p>第6回 資産会計－意義・分類・評価基準</p> <p>第7回 資産会計－流動資産・固定資産・繰延資産</p> <p>第8回 負債会計－意義・分類・負債性引当金</p> <p>第9回 負債会計－流動負債・固定負債・負債の表示</p> <p>第10回 資本会計－意義・分類・純資産・資本金</p> <p>第11回 資本会計－資本剰余金・利益剰余金・自己株式</p> <p>第12回 損益会計－意義・分類・諸原則</p> <p>第13回 損益会計－営業収益・営業費用・営業外損益・特別損益・法人税等</p> <p>第14回 包括利益と純利益</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>第16回 定期試験等（課題研究レポートの提出）</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）</p> <p>(留意点) 簿記・会計に関する基本的な知識を有していること。</p> <p>(事前学習) 毎回、次回の報告予定者を指名しますが、報告予定者だけでなく、受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストを読み、疑問点や質問事項等を整理した上で授業に参加してください。            (1～2時間程度)</p> <p>(事後学習) 講義中に理解したことを纏め、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認してください。その後、授業内容に関する深掘りを行い、自分のものにしてください。            (1～2時間程度)</p>				
<p>テキスト</p> <p>『新版 現代会計学&lt;第3版&gt;』新井清光・川村義則 著 中央経済社</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料など</p> <p>(1) 津守 常弘 著『会計基準形成の論理』森山書店、2002年。</p> <p>(2) 斎藤静稀・徳賀芳弘責任編集『企業会計の基礎概念』『体系現代会計学I』中央経済社、2011年。</p>				
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験の結果と課題研究レポートの内容(60%)、授業での報告内容や討議への参加状況(40%)を総合的に判断して評価します。</p>				